

# 世羅町立甲山中学校区 実践報告

【研究推進地域 研究主題】

地域の未来を見据え，探究的に学習する児童・生徒の育成

—経験単元の開発・実践と評価の工夫を通して—



甲山中学校区研究推進地域  
研究推進リーダー 藤井 大誠  
研究担当教員 田鍋 絢香  
研究担当教員 井上 さやか

## 報告の流れ

- 1 本校区の研究について
  - ・研究主題
  - ・資質能力
  - ・本質的な問い
  - ・経験単元
  - ・研究構想図
- 2 探究的な学習の充実に向けて
  - ①小中連携の取組
  - ②探究サイクルに基づいた単元構想
- 3 実践事例の紹介
  - ・甲山小学校
  - ・せらひがし小学校
  - ・甲山中学校
  - ・ルーブリック評価の作成
- 4 成果と課題, 今後へ向けて

# 甲山中学校区 研究推進方針



本質的な問い「世羅をもっと**元気**にするためには？」



指導方針「信頼して、任せて、待って、支える」

**教師が高めたい資質・能力**

①単元を構想する力

- ・質の高い「問い」を設定する力
- ・探究の過程を意識して指導する力

②学びをファシリテートする力

- ・目標を共有し、一緒に考える
- ・問いかけにより思考を促す

**児童生徒に育成したい資質・能力**

①自発性

発達段階に応じた「計画シート」の作成  
⇒学習の見通しや、臨機応変な計画変更

②コミュニケーション能力

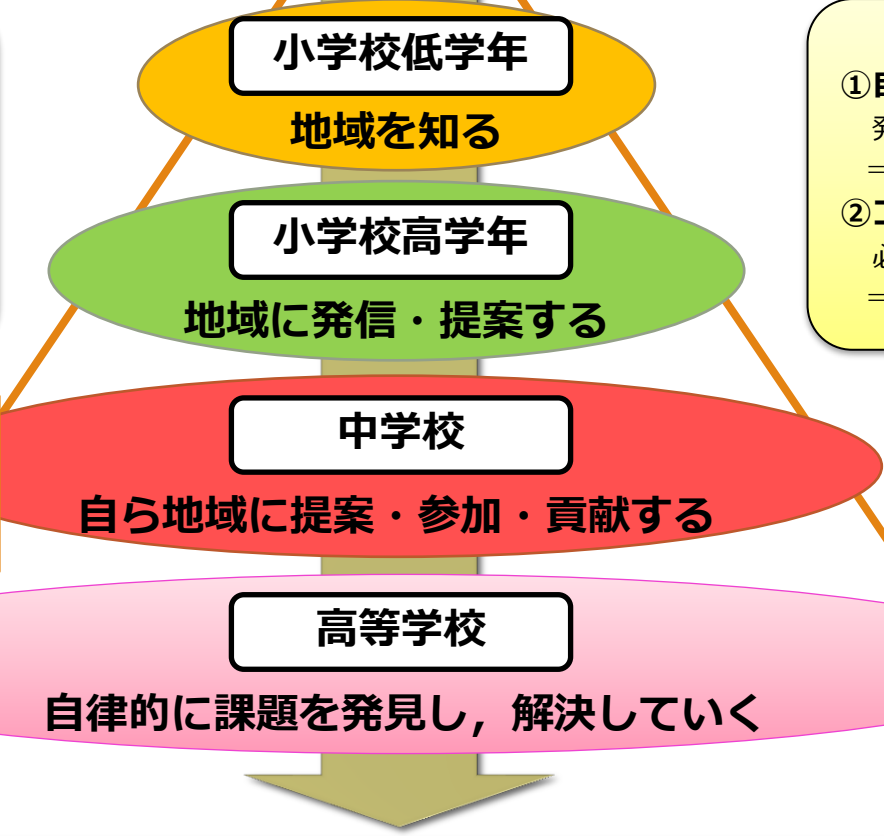
必然性を持たせた上での「話す場」の設定  
⇒町内外有識者等の外部とつながる機会

**単元開発と実践**

- 新たな「経験単元」の開発と実践
- 校種間の実践交流や研修会の充実

**資質・能力の評価**

ルーブリックについての協議・改善  
(イラスト入り, 子どものわかる言葉)



世羅町の発展  
に努める！

世羅町に  
貢献する！

「持続可能な社会の形成者」として地域社会で活躍する人材の育成

**【本校区で重点的に育成を目指す資質・能力】**

**自発性・コミュニケーション能力**

**【研究主題】**

**地域の未来を見据え，探究的に学習する児童・生徒の育成**

—経験単元の開発・実践と評価の工夫を通して—

**【本質的な問い】**

**世羅町をもっと元気にするためには？**

# 総合的な学習の時間では「経験单元」の開発を！

課題設定がカギ

この考えに基づいた学習 = PBL  
(プロジェクトベースドラーニング)

Project Based Learning  
プロジェクトに基づいた学習

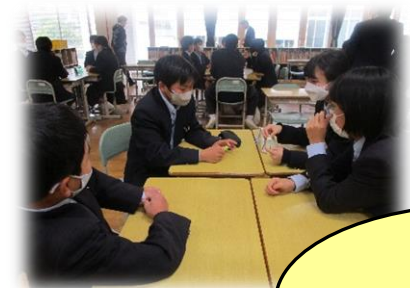
経験单元

資質・能力の育成

成果

興味・関心に基づいた活動

児童・生徒の  
興味関心



# 経験単元のイメージ

**活動の内容は・・・**

- ・子どもが本当に求めている？
- ・スケールやパワーは全力を要する？
- ・地域社会に変化を生み出す？

**単元名は・・・**

「〇〇しよう」という形に言い換えることができるか。

⇒できなければ経験単元になっていない。

**【経験単元】「〇〇をしよう！」**  
**活動を行う(～をする, ～をつくる)**

**途中で壁や障害にぶつかる**

内容を学ぶ  
(～ができる)

内容を学ぶ  
(～がわかる)

内容を学ぶ  
(～に詳しくなる)



# プロジェクト型学習とは？

## 児童生徒は・・・ 『学びの中心』

- 自ら学びを進めていく
- 暗記再生の学びから、  
発見し、統合し、表現する学びへ
- 聞き・答える学びから、  
責任とコミュニケーションを伴う学びへ

## 教師は・・・ 『教えすぎない』

- 脇で見守る
- コーチングとモデリングに徹する
- 児童・生徒とともに学ぶ
- クロスカリキュラムな思考で

# 「本質的な問い」の設定

## 本質的な問い「世羅をもっと**元気**にするためには？」

### 児童生徒の学習環境

#### ①地域の実態

- ・世羅町の強み（豊かな自然，長い歴史など）
- ・世羅町の弱み（人口減少，少子高齢化など）

#### ②教材となる豊富な地域資源

- ・道の駅せら                      ・観光農園
- ・大妻コタカ女史              ・今高野山    など

#### ③地域に根差したこれまでの教育活動

- ・花いっぱい運動，クリーン大作戦
- ・せらゆめトライアル・ウィーク    など

### 教師の願い

「児童生徒の柔軟な発想で世羅町をもっと元気にしてほしい！」





# 校区で育成したい資質・能力の設定



## 甲山中学校

主体性

思考力・表現力

貢献力



## 甲山小学校

表現力

主体性

自信



## せらひがし小学校

表現力

主体性・協働性

自己理解

共通の課題「主体性」「表現力」を基に設定

# 校区で育成したい資質・能力の設定

## 自発性

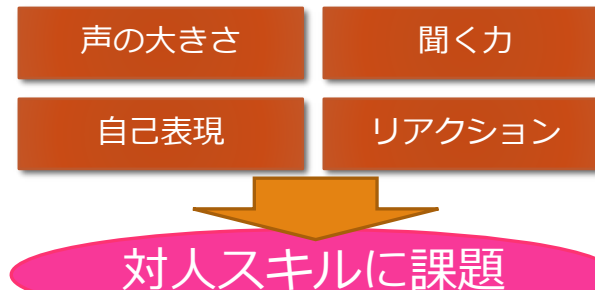
- ・自ら課題を見いだそうとする
- ・自ら学習の進捗管理をする
- ・粘り強く取り組み, やりとげる
- ・自ら学びの機会を広げ, チャレンジする



## コミュニケーション能力

- ・伝える能力
- ・受け取る能力
- ・非言語コミュニケーション能力

### 「表現力」についての3校の課題



より具体的なイメージを児童生徒と教師が共有する

# ルーブリックの開発（1年目）

自発性	S	A	B	C
自ら課題を見つける力 （自ら課題を見つけてチャレンジする）	授業時間外にまで学習の機会を広げようとしている。	新たな課題を見出し、チャレンジしようとしている。	自分から学習の進み具合を考え、適切な課題を見いだそうとしている。	自分から適切な課題を見いだそうとしていない。
自ら学習の進捗管理をする力	根拠をもとに学習計画を立て、より効果的・効率的に学習を進めようとしている。	ゴールをイメージして学習計画を立て、見直しをしながら活動しようとしている。	ゴールをイメージして学習計画を立て、活動しようとしている。	自分で学習計画を立てて活動しようとしていない。



短く，簡潔に，わかりやすく！

全職員・児童生徒が  
目指す姿を共有する

# ルーブリックの開発（1年目）

## 中学校の指標

コミュニケーション能力	S	A	B	C
伝える能力	相手の表情や反応を踏まえたうえで、その場にあった伝え方ができる。	相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。	自分の意見を、根拠をもとに説明することができる。	自分の意見を説明することができない。



## 小学校の指標

コミュニケーション能力	S	A	B	C
伝える能力	相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。	自分の意見を、根拠をもとに説明することができる。	自分の意見を、伝えることができる。	自分の意見を伝えることができない。

小学校の2校で内容を揃える

# ループリックの開発（2年目）

資質・能力		S	A	B	C
コミュニケーション能力	自覚性	各班での具体的な活動内容を理解し、自ら課題を設定し、その課題を解決するための計画を立て、自ら行動できる。	各班での具体的な活動内容を理解し、自ら課題を設定し、その課題を解決するために自ら行動できる。	各班での具体的な活動内容を理解し、設定した課題に対して自分なりの考えを持って行動できる。	各班での具体的な活動内容を理解しようとし、設定した課題にかかわろうとしている。
	伝える力	班で取り組んでいる具体的な活動内容を伝える相手の反応を確認しながら、適切な手段を用いて相手にわかりやすく伝えることができる。	班で取り組んでいる具体的な活動内容を適切な手段を用いて相手にわかりやすく伝えることができる。	班で取り組んでいる具体的な活動内容を適切な手段を用いて伝えることができる。	班で取り組んでいる具体的な活動内容を伝えようとしている。
	受け取る力	他班の意見を理解して共感し、その意見に対して的確なアドバイスや質問ができる。	他班の意見を理解して共感し、その意見に対して的確なアドバイスや質問を考えることができる。	他班の意見を理解し、共感することができる。	



**全職員・児童生徒が  
目指す姿を共有する**

評価項目	◎	○	△	✖
話し合いの場を設け、お互いの考えを伝え合うことができる。	<p>みんなの考えを聞いて、自分も考えを言ってみよう。</p> <p>あたらしいかんがえ</p>	<p>みんなの考えを聞いて、自分も考えを言ってみよう。</p> <p>りゆう</p>	<p>みんなの考えを聞いて、自分も考えを言ってみよう。</p> <p>せつめい</p>	<p>みんなの考えを聞いて、自分も考えを言ってみよう。</p> <p>...</p>
自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p> <p>つぎ</p>	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>
自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>	<p>自分や自分のグループの考えを、他のグループに伝えることができる。</p>

言葉だけでなく、イラストや記号を用いて自己評価しやすいように工夫しました

児童・生徒が分かりやすい形を自指して

# ループリックの開発（3年目）

甲山中学校区 ループリック評価 系統表

**○各発達段階ごとに整理**  
前学年のA評価が次の学年のB評価に

**○伝える力・受け取る力は**  
国語科の話す・聞く・話し合う  
をもとに整理

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
	<p>B 教師の助言を受けながら活動に参加することができる。</p> <p>A 自分のやってみたいことを実現するために、教師や友達の助言を受けながら、みんなで決めて活動することができる。</p>	<p>B 課題の達成に向けて、教師や友達の助言を受けながら、みんなで決めた活動計画に沿って自力で活動を進めることができる。</p> <p>A 友達と話し合い、学習のゴールイメージをもちグループで計画を立てて活動しようとしている。</p>	<p>B 友達と話し合い、学習のゴールイメージをもちグループで計画を立てて活動しようとしている。</p> <p>A 学習のゴールイメージをもちグループで時間的な見通しをもちながら計画を見直し活動しようとしている。</p>	<p>B 自分たちの学習活動を振り返り、設定した課題を解決するための学習計画を立て、活動しようとしている。</p> <p>A 自分たちの学習活動を振り返り、効果的・効率的に学習を進めるために問いの立て直しを行いながら、活動することができる。</p>	<p>B 自分たちの学習活動を振り返り、効果的・効率的に学習を進めるために問いの立て直しを行いながら、活動することができる。</p> <p>A 自分たちの学習活動を振り返り、因果関係を踏まえ新たな問いを立て、他教科との関連を意識して活動することができる。</p>	<p>B 自分たちの学習活動を振り返り、因果関係を踏まえ新たな問いを立て、他教科との関連を意識して活動することができる。</p> <p>A 自分たちの学習活動を振り返り、因果関係を踏まえた問いの立て直しを行い、他教科に身に付けた知識技能を用いることで問いの解決へ近づけることができる。</p>
	<p>B 自分の意見を伝えることができる。</p> <p>A 自分の意見とその理由を伝えることができる。</p>	<p>B 自分の意見とその理由を伝えることができる。</p> <p>A 相手や目的に合わせて意見を伝えることができる。</p>	<p>B 相手や目的に合わせて意見を伝えることができる。</p> <p>A 相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を相対的に説明している。</p>	<p>B 自分たちの考えなどを伝える際に、経験や調べたことをもとに説明することができる。</p> <p>A 自分たちの考えなどを伝える際に、根拠が明確になるようにして、相手や目的を意識した伝え方ができる。</p>	<p>B 自分たちの考えなどを伝える際に、根拠が明確になるようにして、相手や目的を意識した伝え方ができる。</p> <p>A 自分たちの考えなどを伝える際に、場の状況に応じた資料や機器を用いて、相手や目的を意識した伝え方ができる。</p>	<p>B 自分たちの考えなどを伝える際に、場の状況に応じた資料や手段を選ぶなど、相手の反応を確認しながら分かりやすい伝え方ができる。</p> <p>A 自分たちの考えなどを伝える際に、場の状況に応じた言葉や手段を選ぶなど、相手の反応を確認しながら分かりやすい伝え方ができる。</p>
コミュニケーション力（受け取る力）	<p>B 相手の意見を反応しながら聞くことができる。</p>	<p>B 相手の意見を反応しながら聞き、感想を伝えたり、質問したりすることができる。</p> <p>A 相手の意見を要約し、確認したり質問したりすることができる。</p>	<p>B 相手の意見を要約し、確認したり質問したりすることができる。</p> <p>A 相手の意見を要約し、確認したり質問したりすることができる。</p>	<p>B 相手が発信している内容に対して、うなずいたりあいづちを打ったりするなど、反応しながら受け取ることができる。</p> <p>A 相手が発信している情報に対して、自分たちのものと比較しながら、受け止めることができる。</p>	<p>B 相手が発信している情報に対して、自分たちのものと比較しながら、受け止めることができる。</p> <p>A 相手が発信している情報に対して、自分たちのものと比較しながら、受け止めることができる。</p>	<p>B 相手が発信している情報に対して、自分たちのものと比較しながら、受け止めることができる。</p> <p>A 相手が発信している情報の中から必要な情報を見つけ出し、自分たちの考えを広げたり深めたりできる。</p>

発達段階を考慮したループリックを作成しています

# 小中連携の取組

○オンラインによる定期的な研究会議

○互いの校内授業研修会に参加

○単元の配列・系統性の整理

○校内授業研修会での

研究協議の視点の統一

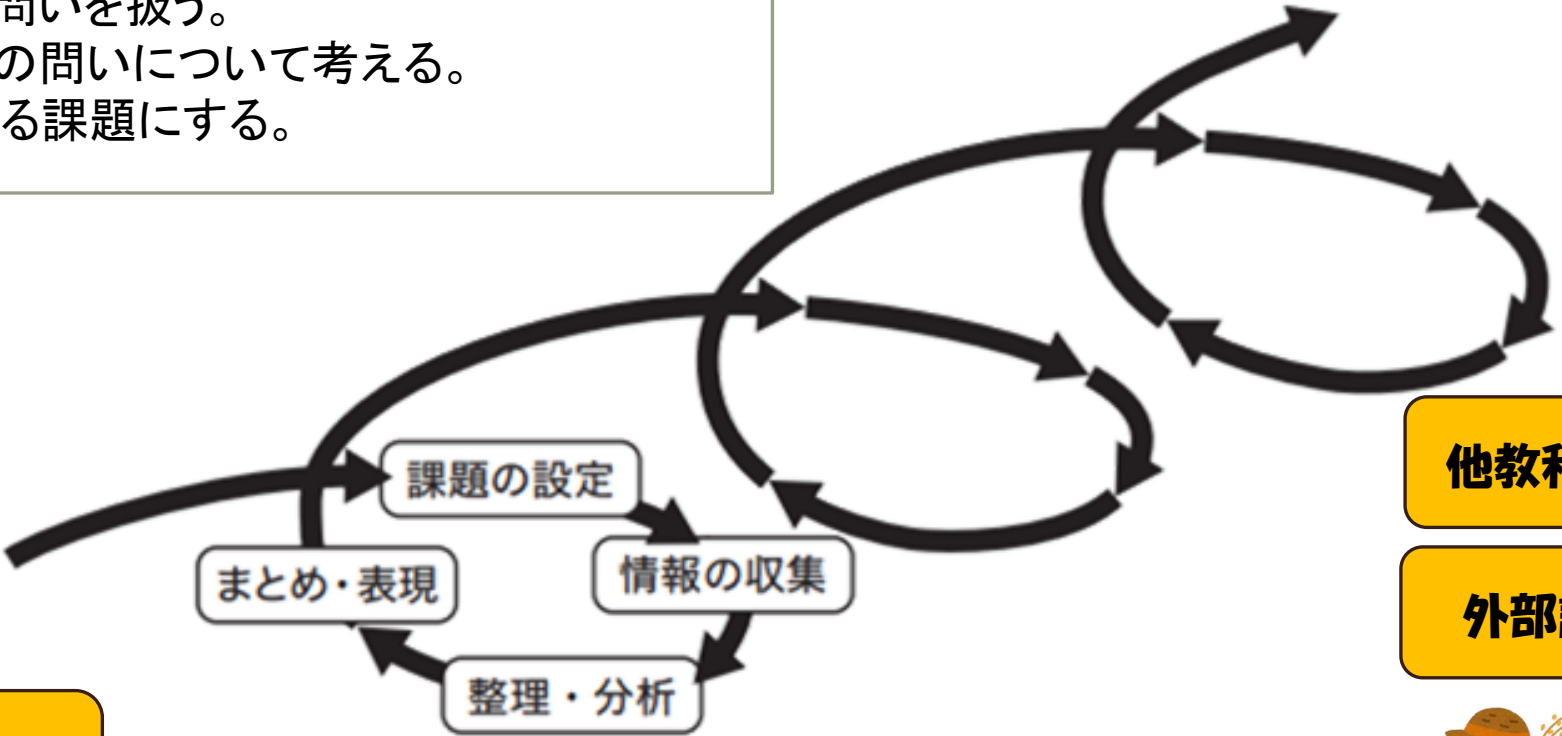


# 探究サイクルに基づいた単元構想

PBLの視点を取り入れた単元開発

- ① 1つの解のない問いを扱う。
- ② 実生活・実社会の問いについて考える。
- ③ 社会に還元できる課題にする。

実社会・地域への還元



他教科・行事との関連

外部講師の積極的活用

子ども達の思いや願い





## 実践事例① 甲山小学校 第1学年「生活科」

地域を知る

# がっこうのななふしぎをみつけようプロジェクト！

【単元を貫く問い】 小学校ってどんなところだろう？

### 課題設定

甲山小学校でしてみたいことは？

- ・ 玉入れ・プール・粘土
- ・ おばけを探したい。
- ・ 七不思議を見つけない。

学校探検をして七不思議を探そう！



- ① チームの仲間を決めよう。
- ② 道具を作ろう。
- ③ 学校探検に行こう。
- ④ 見つけたことを発表して教えよう。

### 情報収集

どうしたら学校の七不思議を見つけられる？

トイレが怖い人がいるから、  
トイレを探検して安全か確かめよう！

安心して探検できるように妖怪と戦う  
道具を調べて作ろう！



作った道具をもって  
学校探検に出発！

## 実践事例① 甲山小学校 第1学年「生活科」

地域を知る

# がっこうのななふしぎをみつけようプロジェクト！

【単元を貫く問い】 小学校ってどんなところだろう？

整理  
分析

学校探検をして、どんなものを見つけたかな？

まとめ  
表現

ほかのグループは、どんなものを見つけたのかな？



- ・探検で見つけたことを絵に描きだして整理する。
- ・七不思議の結果を確かめる。  
「トイレの花子さん」  
「絵から出てくるベートーベン」  
「夜に勝手に鳴るピアノ」



- ・トイレの花子さんはどこにもいなかったよ。
- ・音楽室ではベートーベンの絵が落ちていてびっくりしたよ。
- ・人体模型を見つけたよ。
- ・大きなプールがあったね。プールがしたいな。
- ・校長室には、お兄ちゃんの写真があったよ。
- ・本がたくさんある部屋を見つけたよ。図書室で本を借りてみたいな。

学校生活への安心・希望

# 実践事例② せらひがし小学校 第5学年「総合的な学習の時間」

地域に  
発信・提案  
する

## アスパラガスの廃棄量削減プロジェクト！

【単元を貫く問い】 アスパラガスの廃棄量を減らすために、自分たちができる行動はなんだろう。

課題  
設定

アスパラガス農家をもっと元気にするために、自分たちができる行動はなんだろう。



毎日大量に廃棄されるアスパラガスの根本部分や規格外のもの = アスパラガス農家さんが実際に抱える問題



学校の近くにあるアスパラガス農園の農家さんを元気にしたいな！

実社会・地域への還元

アスパラガス農家さんの抱える悩みってなにかな??



アスパラガス農園に見学にいこう！



アスパラガスの捨てる量を減らしたい！！

# 実践事例② せらひがし小学校 第5学年「総合的な学習の時間」

地域に  
発信・提案  
する

## アスパラガスの廃棄量削減プロジェクト！

【単元を貫く問い】 アスパラガスの廃棄量を減らすために、自分たちができる行動はなんだろう。

情報  
収集

アスパラガスの廃棄量を減らすための取組にはどのようなものがあるのだろうか。



アスパラガス茶の新聞記事があったよ！

農事組合法人うづと代表  
兼国 幸秀 さん



世羅高校農業経営科  
3年生



外部講師の積極的な活用

整理  
分析

アスパラガスの廃棄量削減に向け、自分たちができる行動はなんだろう。



まずは食べられることを知ってほしい！



地域の方も一緒に！！

まとめ  
表現

アスパラガスの廃棄部分を活用したレシピを広めるには、どうしたらよいだろう。

# 実践事例③ 甲山中学校 第3学年「総合的な学習の時間」

自ら地域に関わり、  
提案参加・貢献する

## Serappy プロジェクト～世羅町の魅力を外国人に伝えよう～

【単元を貫く問い】 観光客を呼び込むために自分たちにできることはなんだろう。

### 課題設定

#### 【個別の問い】

- ・昨年度のプロジェクトを通して身に付けた力はどんなものがあるだろうか。
- ・最高学年としてどのようなプロジェクトに取り組みばよいだろうか。
- ・どんな観光ルートが必要だろうか。など



「観光客を呼び込むためにできること」について案を出し合い、活動方針を決定しました。

【活動方針】  
世羅町の魅力を盛り込んだ、観光ルートを作成する。

昨年度までの取組や、文献やインターネットを活用し、世羅町(甲山校区)の魅力について情報収集を行いました。

世羅町にはたくさんの観光地があるがどれも有名なところは甲山中学校から遠いから案内するのは大変だという課題も出てきました。

# 実践事例③ 甲山中学校 第3学年「総合的な学習の時間」

自ら地域に関わり、  
提案参加・貢献する

## Serappy プロジェクト～世羅町の魅力を外国人に伝えよう～

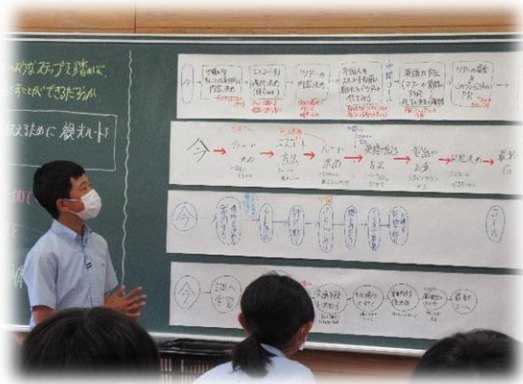
【単元を貫く問い】 観光客を呼び込むために自分たちにできることはなんだろう。

### 情報 収集

【個別の問い】  
・世羅町の観光場所はどこにあるだろうか。  
・インターネットには載っていない地元ならではの場所はないだろうか。 など

### 整理 分析

【個別の問い】  
・調べたことをもとに最適な観光ルートはどのようなだろうか。  
・交流会当日のタイムスケジュールはどのような方がいいだろうか。 など



実際に活動して  
みて初めて  
見つかる課題  
もありました！



グループごとにルートを決めて、下見を行いました。

下見の結果、ルート変更の必要性、食事場所、お店の定休日、留学生が当日使う自転車の確保などの新たな課題も出てきました。

# 実践事例③ 甲山中学校 第3学年「総合的な学習の時間」

自ら地域に関わり、  
提案参加・貢献する

## Serappyプロジェクト～世羅町の魅力を外国人に伝えよう～

【単元を貫く問い】 観光客を呼び込むために自分たちにできることはなんだろう。

### まとめ 表現

#### 【個別の問い】

- ・自分たちが計画したルートは留学生の視点から見て、充実したものだろうか。
- ・自分たちが考案したエスコートルートで留学生たちは満足してくれるだろうか。
- ・より幅広い人に世羅町を知ってもらうために自分たちにできることは何だろうか。 など



当日を迎えるにあたって、留学生の確保、資金面、タイムスケジュールなど、課題が盛りだくさんでした！

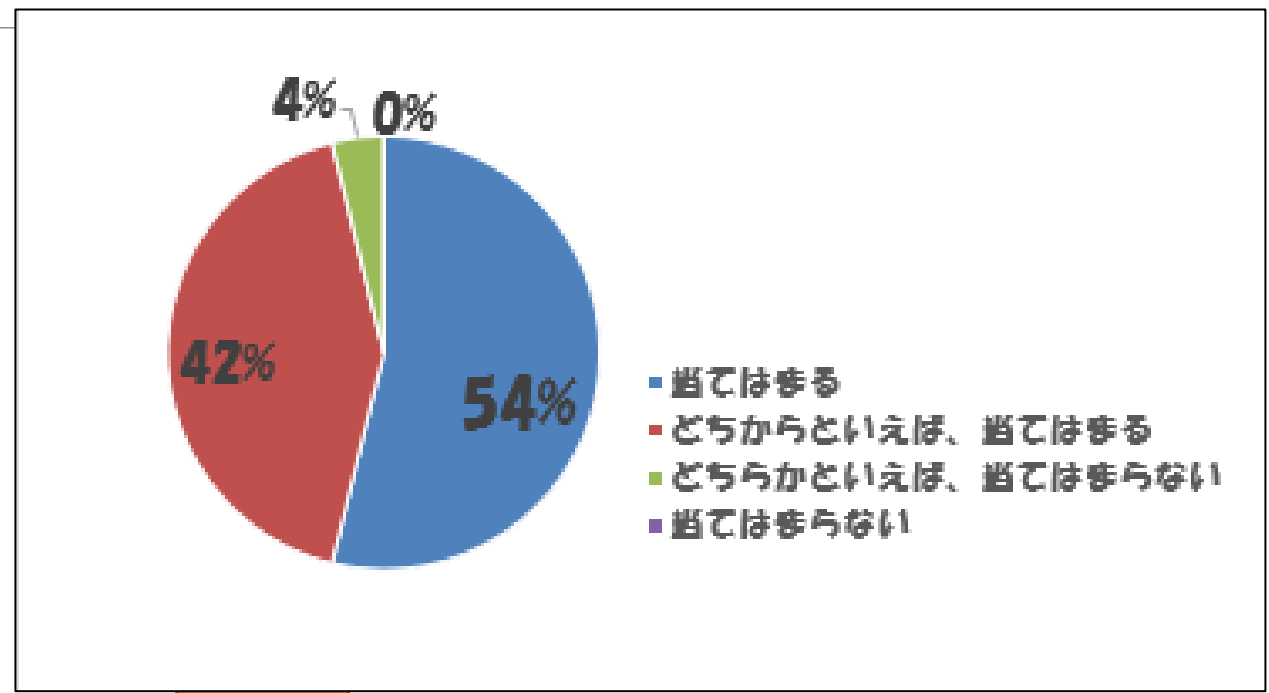
広島大学に在籍している留学生の方に来町していただき、交流会を行いました。

無事に交流会ができました。本質的な問いに立ち返り自分たちの企画を振り返りました。

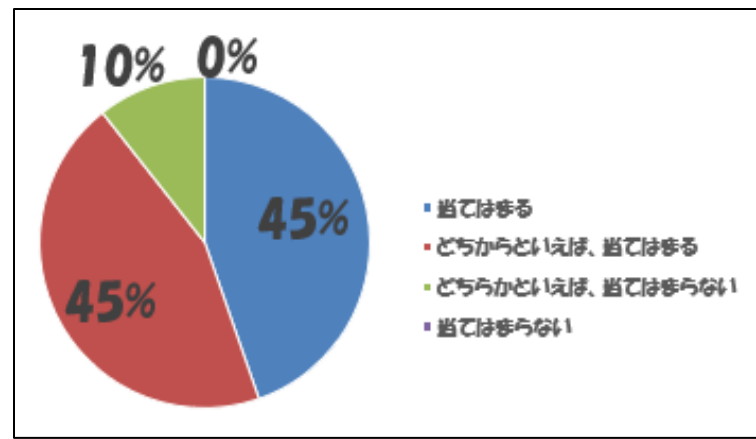
# 成果【教員アンケートより】

「総合的な学習の時間」及び「生活科」の授業では、課題の設定からまとめ・表現に至る**探究の過程を意識した指導**をしていますか。

※対象：甲山中学校区の総合的な学習の時間または生活科を担当している職員



今年度のアンケート結果



昨年度のアンケート結果

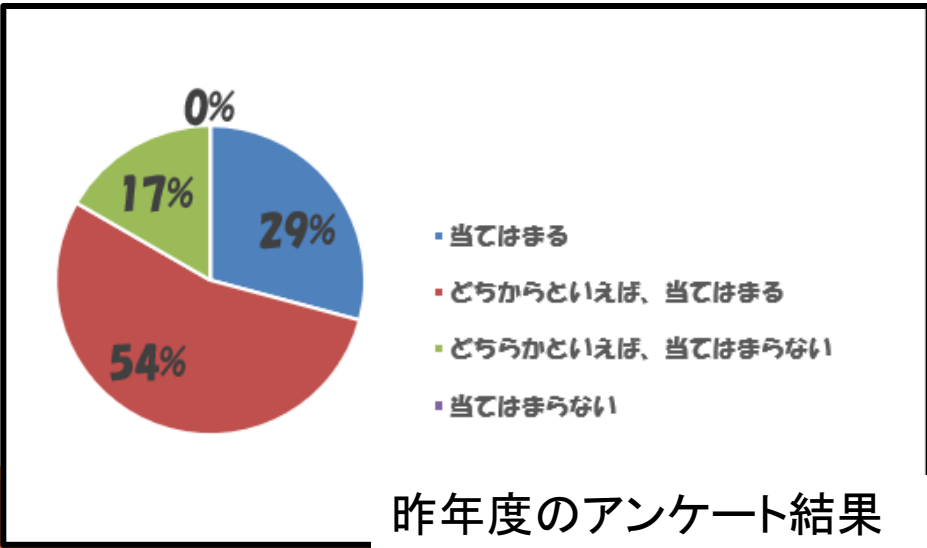
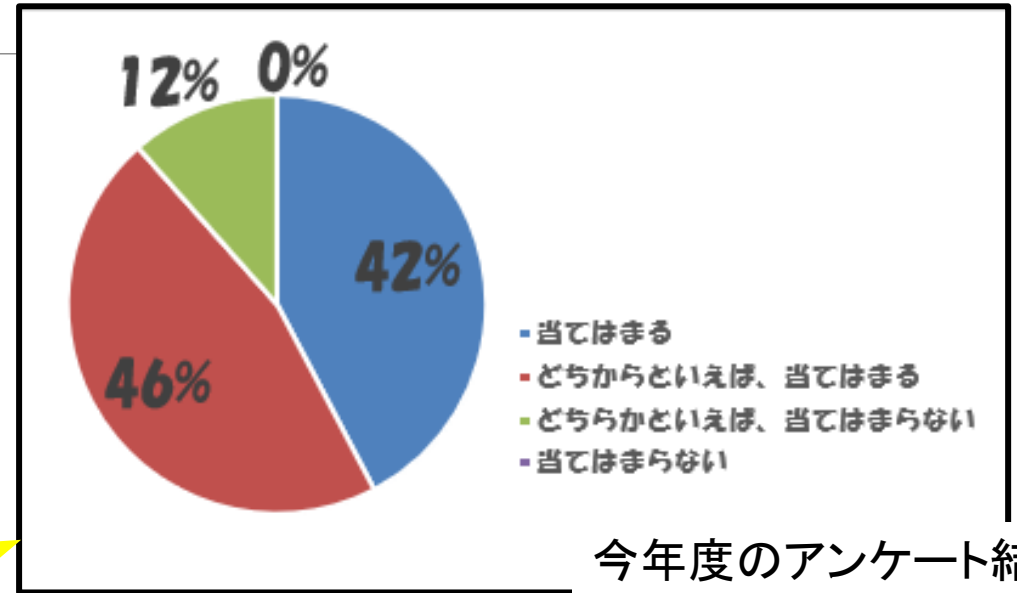
「あてはまる」と回答した教員の数が増えた。  
探究的な学習についての理解が深まったと考えられる。



# 成果【教員アンケートより】

「総合的な学習の時間」及び「生活科」の授業では、各学校で定めた**資質・能力の育成を意識した指導**ができましたか。

※対象: 甲山中学校区の総合的な学習の時間または生活科を担当している職員

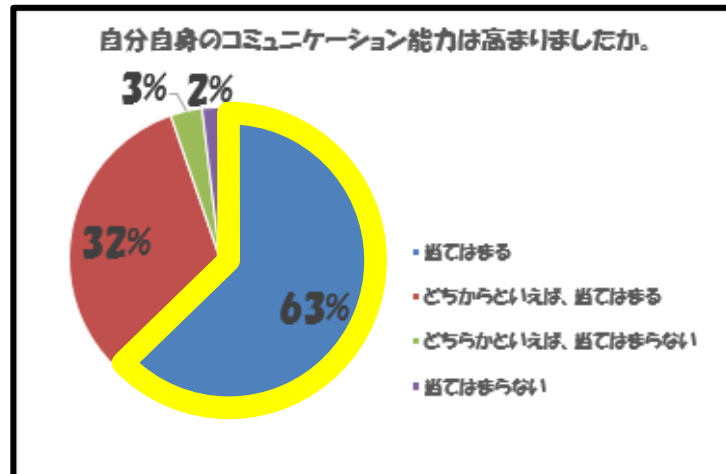
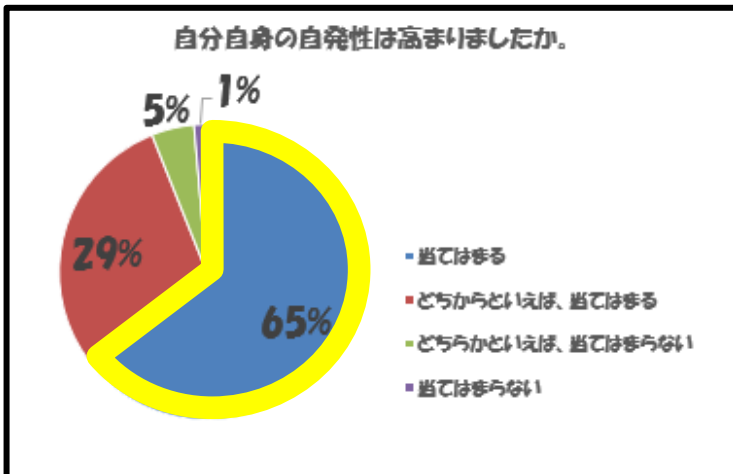
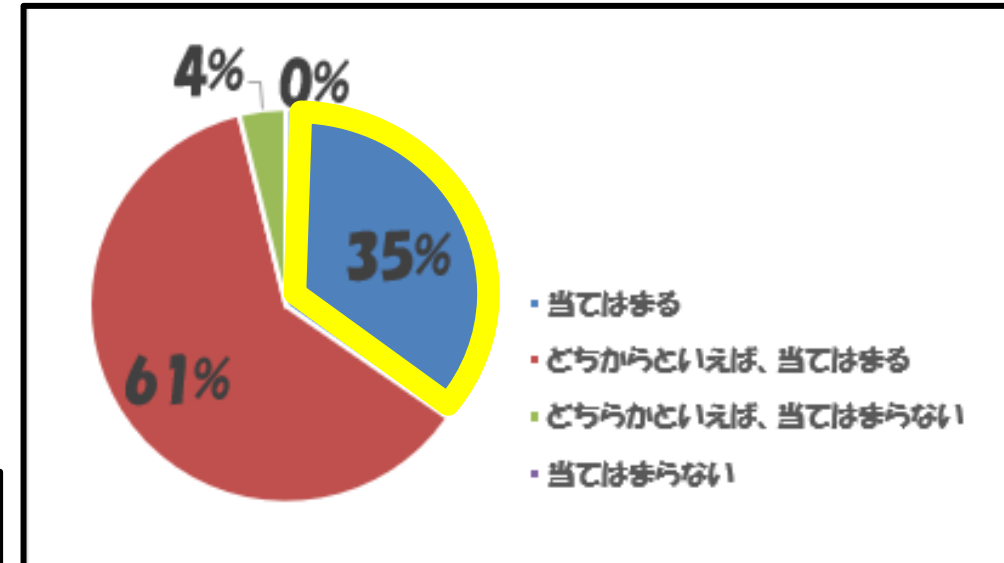


**この3年間で多くの教員が、  
資質・能力を育成を意識できるようになった。**

# 課題【教員アンケートより】

資質・能力の育成を意識した指導の結果、**児童生徒の資質・能力は育成された**と思いますか。

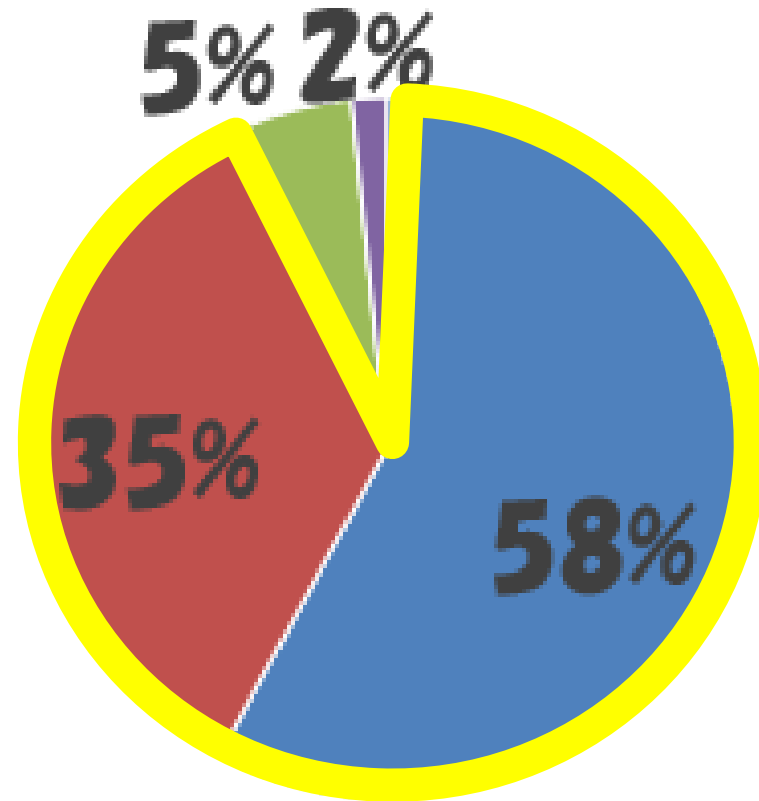
※対象: 甲山中学校区の総合的な学習の時間または生活科を担当している職員



**教員と児童生徒の結果から意識の乖離が見られる**

# 成果【児童・生徒探究アンケートより】

総合的な学習の時間」及び「生活科」の授業では、  
課題の設定からまとめ・表現に至る**探究の過程を意識**していますか。

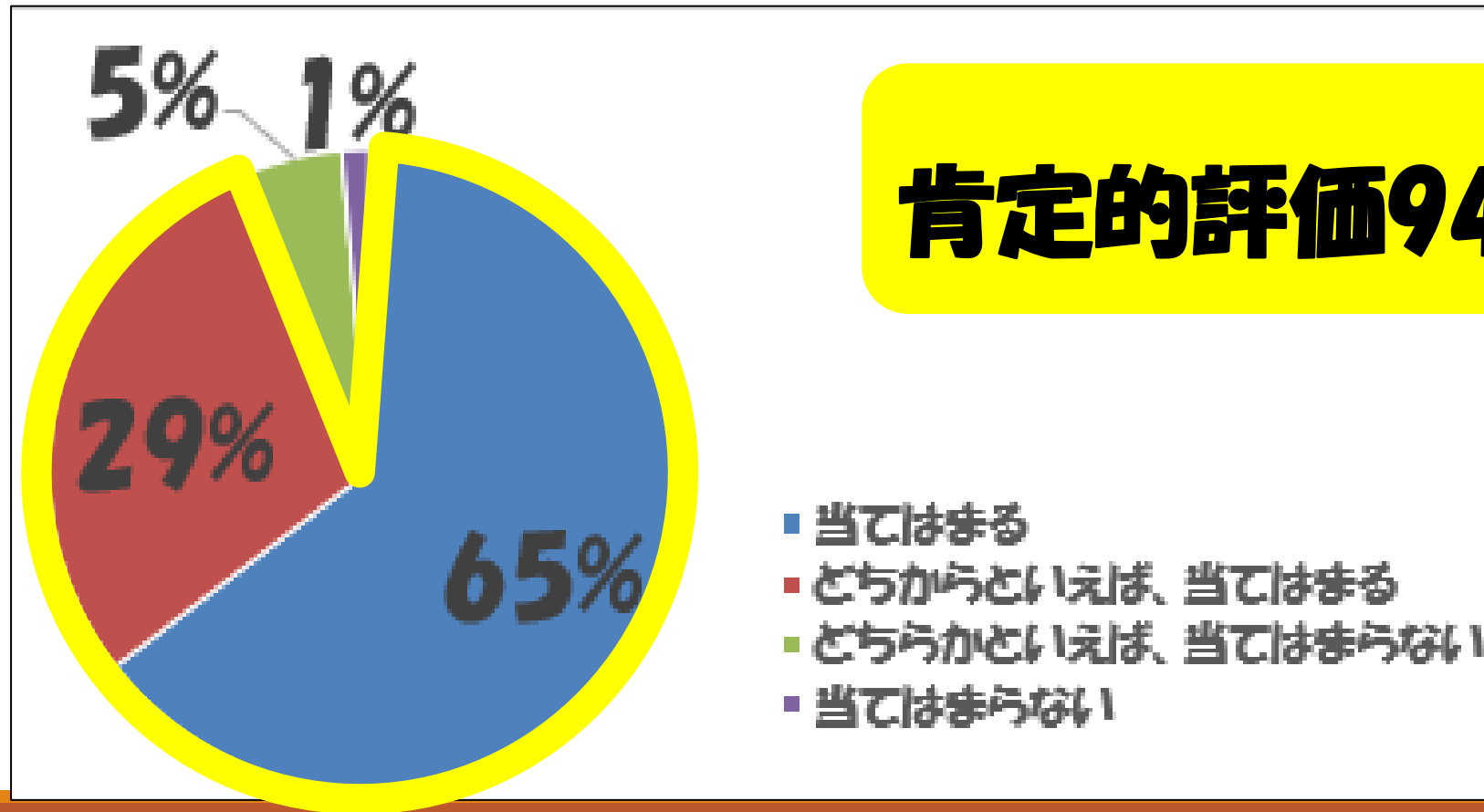


**肯定的評価93%**

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

# 成果【児童・生徒探究アンケートより】

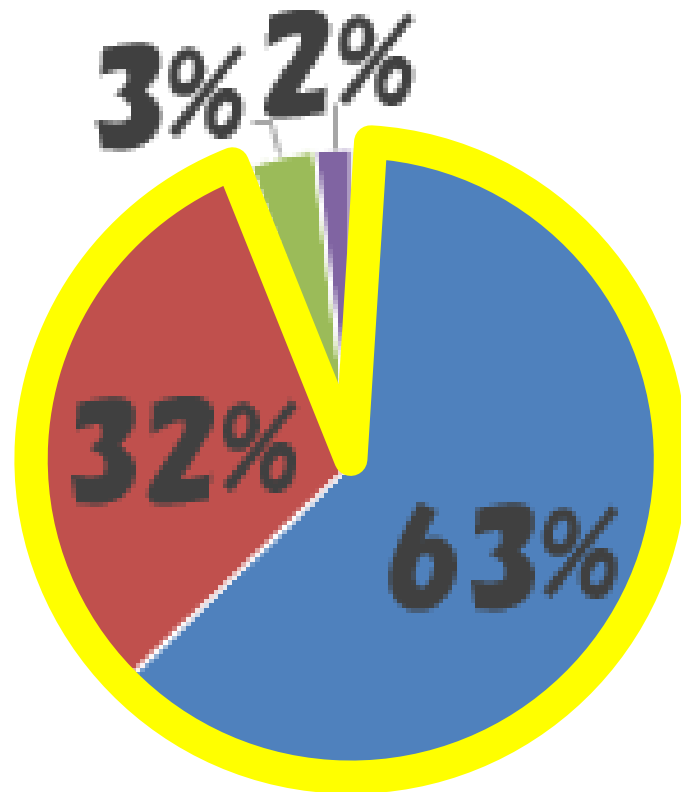
以前に比べて、**自発性**は高まりましたか。



**肯定的評価94%**

# 成果【児童・生徒探究アンケートより】

以前に比べて、**コミュニケーション能力**は高まりましたか。

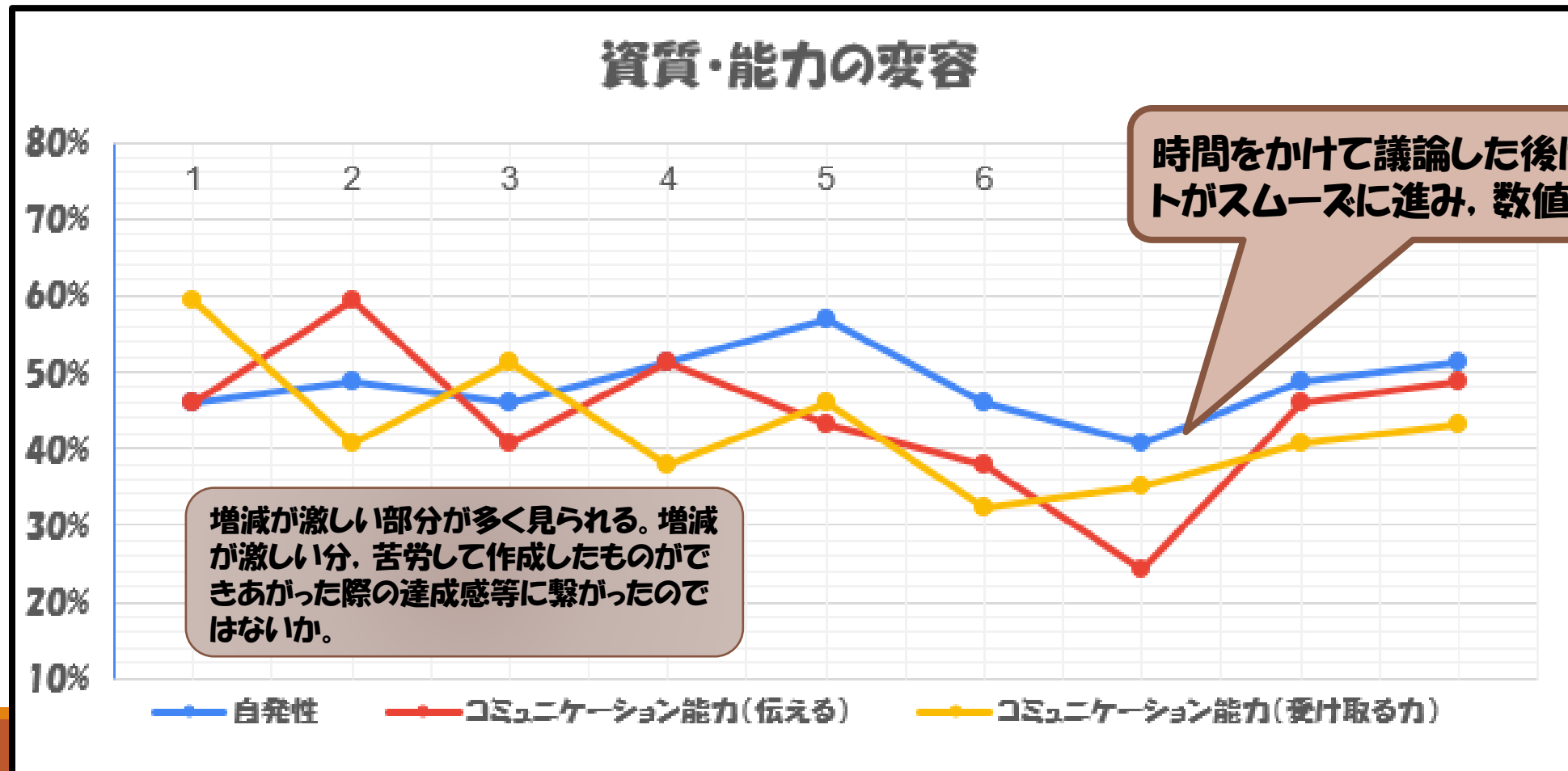


**肯定的評価95%**

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

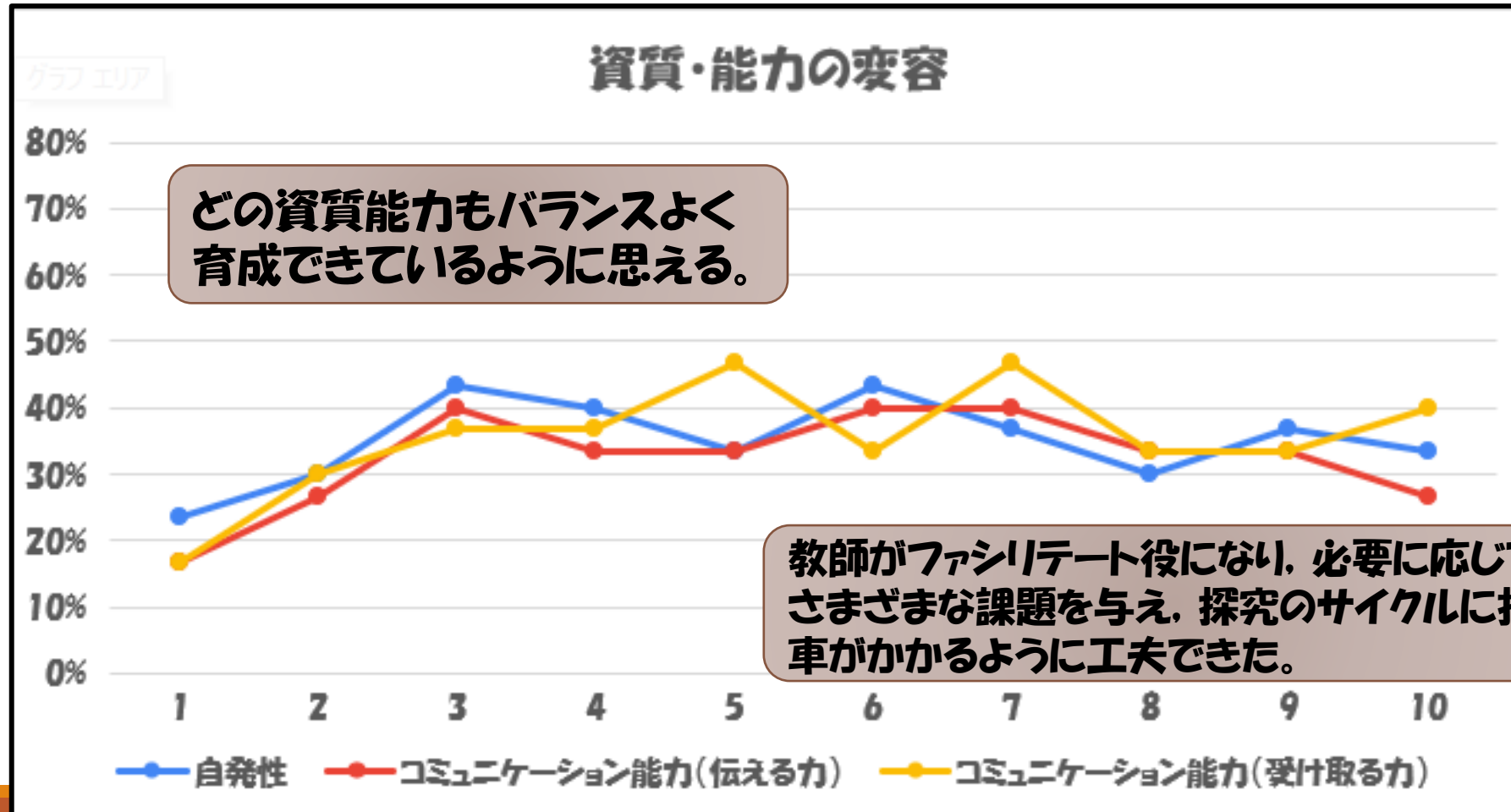
# 成果【ルーブリック評価より】

甲山中学校 第3学年「Serappy プロジェクト」自己評価表におけるA評価の割合



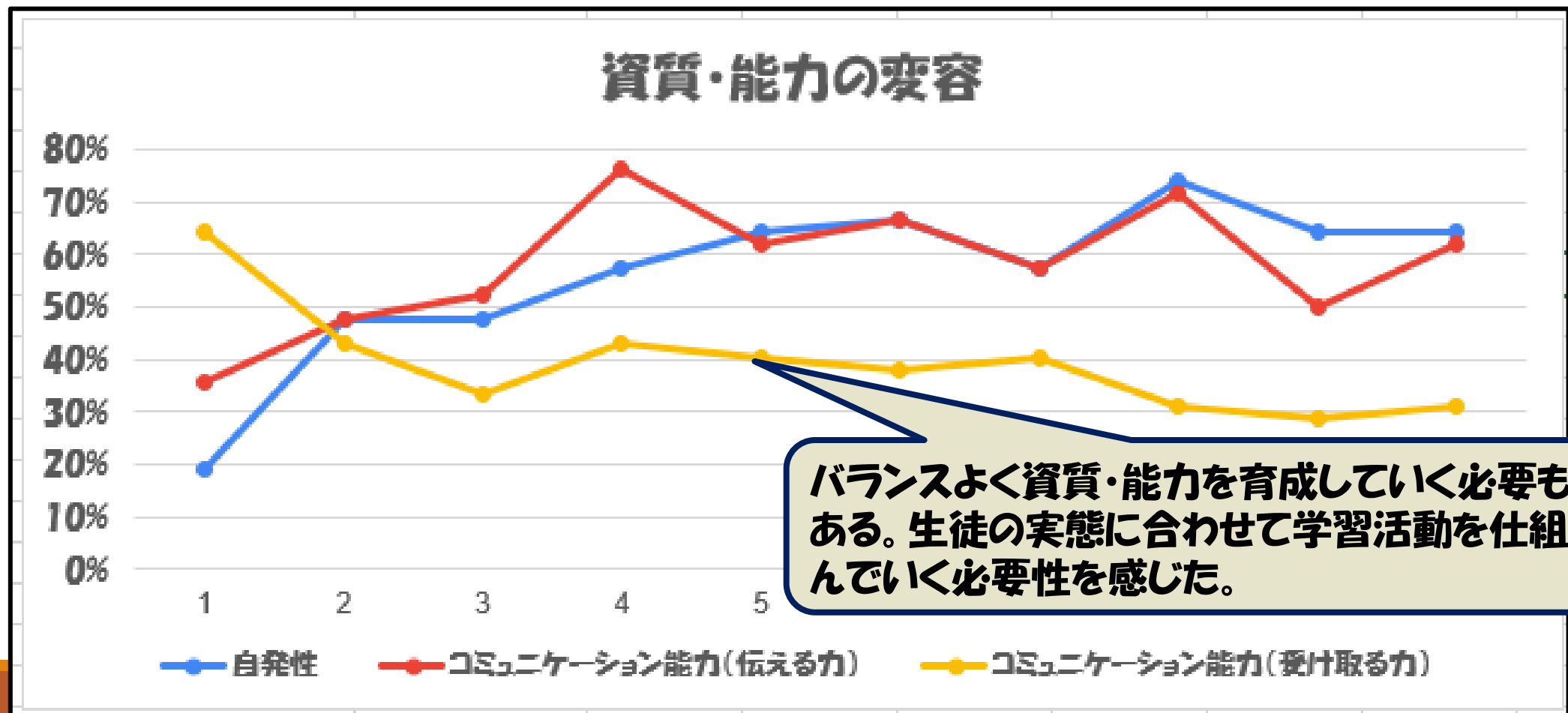
# 成果【ループリック評価より】

甲山小学校 第6学年「大田庄歴史館集客プロジェクト」自己評価表におけるA評価の割合



# 課題【ルーブリック評価より】

甲山中学校 第1学年「福祉プロジェクト」自己評価表におけるA評価の割合





# 次年度以降に向けて

創る

- 令和3年度**
- (1) 育成を目指す資質・能力の設定
  - (2) PBLによる総合的な学習の時間の単元開発
  - (3) 資質・能力の評価のためのルーブリックの開発

見直す

- 令和4年度**
- (1) 設定した資質・能力を柱とする全教育計画の見直し
  - (2) 開発単元の改善, 新たな開発
  - (3) 評価の妥当性の検証, ルーブリックの改善

広げる

- 令和5年度**
- (1) 研究成果のまとめ, リーフレットの作成
  - (2) 各教科におけるPBLの実践
  - (3) 他地域への発信・普及

磨きをかける

- 令和6年度**
- (1) 本質的な問いの再検討
  - (2) カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れた単元開発
  - (3) 教職員への周知

## 重点項目①

資質・能力の育成を、総合的な学習の時間だけではなく、全ての教科で実践し、思考・判断・表現力の育成へ繋げる。

## 重点項目②

全職員が探究的な学習について共通理解を深める。

# 世羅町立甲山中学校区 実践報告

【研究推進地域 研究主題】

地域の未来を見据え，探究的に学習する児童・生徒の育成

—経験単元の開発・実践と評価の工夫を通して—



甲山中学校区研究推進地域  
研究推進リーダー 藤井 大誠  
研究担当教員 田鍋 絢香  
研究担当教員 井上 さやか